

留学体験（現地）レポート

11013075 竹部祐太

私は韓国のソウルにあるキョンヒ大学に約 4 カ月の留学をしました。この留学で私は自分自身の成長を感じることができました。特に、韓国語の上達や韓国と日本の違いや似ているところの発見、様々な人々との出会いなど私にとっては全てが良い経験となりました。

最初の 3 週間は日本人留学生の多いプログラムだったこともあり、韓国語を話す機会があまりなく、その当時できた友達は日本人ばかりだったので、韓国語をあまり話さなくても良い状況でしたが、日本各地に友達ができただことは私にとってとても素敵なものになりました。

そしてこのプログラムが終わると、次は 3 カ月間のプログラムでした。このプログラムでは外国人が多く日本人は一クラスに 3 人程度で、これをきっかけに外国人の友達と交流する機会が増えました。特に外国人との交流を通じてお互いの国のイメージを知ることや変えることもできました。

また、トウミトという制度があり、留学生の生活を助けてくれたり、韓国語の練習に付き合ってくれたりする人がいます。トウミトはお昼御飯を一緒に食べたり、散歩したり、話したりと楽しかったです。また、韓国人の友達もたくさん欲しかったので、積極的に友達を作りました。韓国人は親切な方が多く、とてもお世話になりました。私は韓国で出会った人たちのおかげで本当に韓国語が上達しました。

授業は平日の午前中には 4 コマあり、金曜以外には午後に 2 コマありました。午前中の授業としては文法とリスニング、スピーキング、ライティングでした。

午後の授業では、月曜日は授業の内容が毎回違い、内容も様々で韓国の文化や歴史、遊び、ダンスといった幅広いものでした。火曜日は映画の授業で、映画を通して韓国語や韓国の歴史や文化を学んだりしました。水曜日は歌の授業で、このおかげで少しずつ好きな曲が増えていきました。木曜日はゼミナールがありました。私は最初の友達とする発表では恋愛関係について調べました。韓国と日本との違いが明らかになりました。日本と韓国は距離的には近いですが、やはり感覚的なものや文化は違うことが分かりました。むしろ、似ていることや近いものを発見した時に驚くようになりました。

ゼミナールの 2 回目の発表では、日本と韓国のファッションについて調べました。日韓のファッションブランドやデザイナー、若手デザイナー、ストリートファッション、インフルエンサー、ファッションショーなど様々なものを調査し、比較しました。

そして、授業は現地学習が 2 回ありました。1 回目は、ソウルタワーと、民俗村と陶器作りを体験し、ナンタを観覧するものでした。2 回目の現地学習ではソラク山を訪れたのですが、とても寒く風が強かったのですが景色は最高でした。また、外国人の友達と過ごしたのでとても良い思い出になりました。

そして、この留学で一番に印象に残っているのがソウルファッションウィークに行った

ことです。これは10月に1週間だけあり、私は毎日東大門へ行きスナップ写真を撮影したり、ファッションショーを見たりしました。私はこの時に素敵な方々と出逢いととても良い刺激になりました。

韓国での全ての出会いが私にとっては素敵で思い出になりました。ですので、また何らかの形で再会できたら良いと思っています。